

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020

応募の手引き

“紙リサイクル”コンテスト 応募のポイント①～⑤

リサイクルそのものを教えることは、なかなか難しいものですが、“紙リサイクル”なら、身近にある“紙”に絞ったリサイクルのため、児童・生徒も理解しやすいと思います。

「使い終わったノートやメモ用紙等はどうのようにリサイクルされているか調べてみよう」と言えば、楽しんで取り組むはずですよ。

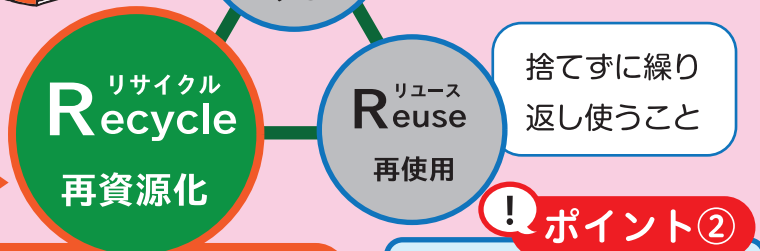
この応募の手引きを通して、“紙リサイクル”の理解を深め、作品づくりへのポイントをおさえながら、環境学習の1つとして役立てて頂ければ幸いです。



紙リサイクル促進大使
「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」

リサイクルとは何ですか？

「リサイクル」とは、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(=循環型社会)をつくらうとする活動の1つです。加えて「リデュース」、「リユース」といったごみを削減する方法もあり、リサイクルを含めて「3R」と呼ばれています。



なるべくごみを出さないこと

捨てずに繰り返し使うこと

！ポイント①

本コンテストは、紙の「リサイクル」がテーマです。

子どもはもちろん、大人も混同しやすいので、注意が必要です。

！ポイント②

「リデュース」「リユース」は審査の対象外になります。

使い終わったものを資源に戻して利用する。

では、紙リサイクルとは？

紙の再資源化をきちんと理解して、「紙リサイクルの輪」に参加しましょう

しっかり分けて回収に出す
古紙は種類ごとに違う用途の紙に再生されるため、分けて回収に出します

古紙はさまざまな人の手を経て再生される

回収された古紙は古紙問屋でまとめられ、製紙工場に運ばれ再生されます

古紙を利用した製品を選んで使う

“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、使い終わった段ボール、紙パックなどを回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

！ポイント③

例えば…

家では、使い終わった紙を集める箱を置いて古紙回収に出している
リサイクルに出した紙はどうなるか調べた

リサイクルについて取り上げているので **OK**

紙箱を筆箱にして使っている
牛乳パックを洗ってまな板に使っている
新聞紙を雑巾代わりに使う

これらはリユースになるため **NG**



ポイント④

古紙と、生まれ変わる紙製品を理解しているか

古紙の種類と、リサイクルすることによって生まれ変わる紙製品を混同しないよう注意が必要です。

例えば…

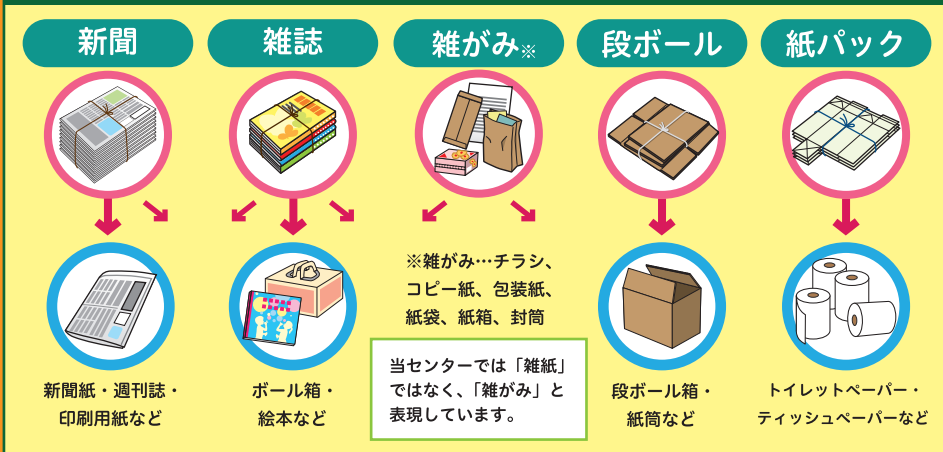
新聞紙はトイレットペーパーになる

NG

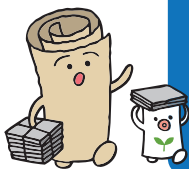
OK

古紙回収に出した段ボールが、また段ボールに生まれ変わった

「古紙」と、紙リサイクルで「生まれ変わる紙製品」



「リサイクルできない紙」があるということ、種類を理解しているかどうか大きいポイントです。加工した紙や、材質によってリサイクルできない紙があることを、大人も理解する必要があります。



例えば、これらはできない紙の一部です

洗剤の箱やにおいのついた紙、フィルム付き封筒、レシート、紙コップ、金銀の光る紙、写真…など

ポイント⑤

紙製容器包装識別マークは、本コンテストの作品には使用しないでください。



紙製容器包装識別マーク

紙箱や包装紙などについています。このマークはプラスチック等と複合した紙箱や包装紙などにもついており、紙から紙へのリサイクルができず、固形燃料などに使われるものもあるため、本コンテストでは使わないマークにします。

他にもアルミ缶や、びん、プラスチックなどのリサイクルマークがありますが、本コンテストは、「紙」がテーマです。間違えて描いてしまわないよう気を付けましょう。



“紙リサイクル”に関するマーク（推奨）

本コンテストに応募するポスター作品に「紙リサイクル」に関するマークを描く場合は、①～⑤のマークを使ってください。



① グリーンマーク



グリーンマーク

古紙を原料に利用した製品についています。

② 段ボールのリサイクルマーク



ダンボール

リサイクルできる段ボールについています。

③ 紙パック識別マーク



アルミのない紙パックについています。

④ 牛乳パック再利用マーク



牛乳パック再利用

使用済みの牛乳パックを原料として使用した商品についています。

⑤ 再生紙使用マーク



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

古紙を表示の割合使った再生紙についています。

作品の制作における注意点①

“紙リサイクル”に関しての情報不足からか、正確な内容を把握せず、紙以外のリサイクル等と混同する作品が多々見受けられます。

そのため、優秀な作品でありながら、評価の対象外となってしまう作品があります。

紙のリサイクルをすることで森(木)を守る、森林破壊を防ぐということについて書いている作品が見られます。本コンテストは紙のリサイクルをテーマにしているということを、児童・生徒に再認識させて下さい。

“紙リサイクル”は、使い終わった紙を新しい紙に再生することです。

紙をごみにすることを防ぐことであって、森林破壊を防ぐことではありません。素晴らしい作品であっても、紙リサイクルと森林保護を関連付けて書かれていると、審査の対象外となる場合があります。

紙の原料として、一部利用している木材(パルプ)は端材、あるいは廃材を使用しています。紙を作るために森林を不必要に伐採しているわけではありません。



注目!

例えば…

- ◆紙を作るために木々を伐採することは森林破壊に繋がる
- ◆森を守ることは地球温暖化防止となるので紙リサイクルをしよう
- ◆紙の無駄使いは森林破壊になるので紙のリサイクルをしよう

NG

「森」がテーマとなっているため

児童・生徒がテーマ選びに苦勞している場合

以下のような、紙リサイクルの課題の解決策について提案する内容もテーマとして考えられます。

リサイクルできる紙がごみとして捨てられないようにするために、〇〇したらどうか。

リサイクルできない紙が古紙に混ざらないようにするために、〇〇したらどうか。

木材(パルプ)よりも古紙を原料にした紙製品を使ってもらうために、〇〇したらどうか。

古紙回収活動(集団回収活動)を継続していくために、〇〇したらどうか。



作品の制作における注意点②

今までの応募作品の中で、書き方や表現によって惜しくも入選されなかった例を見ながら、本コンテストの注意点をおさらいしましょう。



注目!

リサイクルできる紙は「資源」です。「ごみ」ではないため、「ごみを捨てる」、「ごみ捨て場に出す」など、リサイクルされない表現は、審査の対象外となる可能性があります。右枠のNGキーワードは使わないようにしましょう。なお、自治体によっては「紙ごみ」、「資源ごみ」と表現している場合もありますが、当センターでは利用していませんので、誤解のないようにお願いします。

キーワード

OK

「古紙」
「資源」
「収集所に出す」

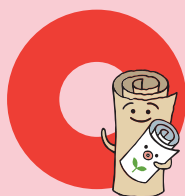
NG

「紙ごみ」 「ごみに出す」
「資源ごみ」 「捨てる」
「ごみ」



良い作例 ～作文編～

それでは、ここから実際に受賞した作品を見ながら、評価が高かったポイントをおさえていきましょう。



興味を持ったきっかけを提示することで、次の体験したことへの導入になっています。

文部科学大臣賞（作文部門最優秀賞）作品

紙リサイクルこうざにさんかして

小学4年生

四年生の社会で、リサイクルの勉強をしました。もっとリサイクルについて知りたいと思い、また、再生紙を実際に作ってみたいと、夏休みにリサイクル業者さんの「紙のリサイクルと楽しい葉書づくり」に参加しました。

まず最初に、紙のリサイクルのお話を聞きました。一つ目に、せんぎいの箱や、どくとくのおいがついた紙は、リサイクルして、たとえばおかしの箱になった時に、再生した紙にもおいがつくので、リサイクルできないと知ってびっくりしました。紙は何でもリサイクルしたらいいと思っていたけれど、再生した時のことを考えて、リサイクルするのが大事だと分かりました。

二つ目に、私たち日本人が一年間、一人あたり、二百キログラムも紙を使っていると知っておどろきました。そして、もっと使う紙をへらし、使った紙はリサイクルしなければいけないと思いました。たとえば、私は学年が上がる、前の学年のとの中のノートを使わずに、新しいノートを使ってしまおうので、これからは前の学年のノートでも、最後まで使おうと思います。

三つ目に、紙の種類によって、再生できる紙の種類が決まっているので、分別して紙をリサイクルしないといけないと分かりました。

次に、工場見学に行きました。人びとが分別をせずにし

げんを出すと、工場の人を手で分別をすることになり、また、次のリサイクル工場におこられてしまうことが分かりました。分別されてサイコロ状にかためられ、そのかたまりが高く積み上げられていたのを見て、私はみんなが、リサイクルにきょう力してくれていると知りました。でも、もっとたくさんの方が、リサイクルにきょう力してほしいと思いました。

最後に、葉書作りを体験しました。ピンク色のA四の紙一まいで、少し黒っぽくなったピンク色の葉書ができました。とてもいいねいに教えてもらったので、たった三十分で葉書を作ることができ、びっくりしました。なぜ牛にゆうパックで作らなかったのか、しつ問すると、かたまりにくいので時間がかかるから、と答えてくれました。教えてもらいながら作るとかん単だけど、家で作ったらむずかしいと思います。一人一人が再生紙を作ろうと思うと大変だから、せん門の工場の人みんなのために、まとめて再生紙を作ってくれていると思いました。

私はこの体験で、リサイクルのことがよく分かり、とても楽しかったです。私は、リサイクルすることの大切さと、注意する点を学びました。

だから、このことを学校でみんなに伝えたいです。私は美化委員なので、委員会活動の中でクイズにしてみんなに伝えたいです。そうしたら、みんながきょう味を持ってくれて、工場の人にめいわくがかからないし、みんながリサイクルをしやすくなると思います。

思いついたアイデアを提示し、また、そのアイデアが周りに与える効果も想像することで、より実践的に感じられます。

「自分の体験したこと」を通じて、「思ったこと・感じたこと」がわかりやすくとめられています。

良い作例 ～作文編～



作文は、ポイントさえ間違えなければ、必ずしも「専門的な知識が必要」、「学習したことを書かなければいけない」ということではありません。要点を簡略的にまとめ、活動やアイデアを書きまとめてみましょう。

アイデアの経緯をきちんと提示していることで、具体的な考えをわかりやすく導いています。

リサイクルできる紙と、生まれ変わる紙製品が正しく書かれています。

作文中学生部門 金賞（優秀賞） 作品

地域みんなで紙リサイクル

中学一年生

紙リサイクルに関する活動やアイデアについて私なりに考えてみました。紙リサイクルが重要であることは、誰でも理解していると思いますが、紙類をそのまま捨ててしまうゴミになってしましますが、分別して紙リサイクルをすることで身近ないろいろな物に生まれ変わります。具体的には、**段ボールが主にまた段ボールやトレットペーパーの芯に、雑誌は主にボール紙や絵本に生まれ変わります。**新聞は、主に再び新聞や雑誌、印刷用紙にリサイクルされます。紙パックやコピー用紙は、**トレットペーパーやテ** イッシュペーパーなど、生活に欠かすことのできない身近な物に変身します。ただ**つい面倒に感じてしまったり、お** 年寄りの方達は束ねた新聞紙や大きな段ボールは重い**ため** 処理に困ってリサイクルどころではないかもしれません。そこで私が考えたのは**地域のお年寄りや体が不自由な方** の家に私達中学生や、高校生が大人の人と一緒に**回って読み** 終わった雑誌や新聞、紙パックや段ボールなどを月に**一回** 程度、回収してみようかということでした。

地域の方と顔見知りになれるし、定期的に会うことでお

たがいに話をしたりして仲良くなれるかもしれません。

私は、祖父母とはなれて住んでいるので、**地域のお年寄** りの方と交流できたらとても嬉しく思います。

紙リサイクルの輪も広がるし、**普段はあまり関わること** のない方々とも知り合えるし、一石二鳥の**アイデアだと思** います。地域を回る事で私達は**今までより町のことや地域** にどんな方が住んでいるか知ることができると、**お年寄り** の方や体が不自由な方達は**元気な若者と交流することで明** るく楽しい気持ちになってもらえるのではないかと**思いま** す。紙リサイクルの活動の時以外でも、町で会えば

「こんにちはー毎日暑いけど元気ですか？また回収に行きますね。」

「うん。暑いからおたがい熱中症には気をつけないとね。新聞がたまってきたからそろそろたのむよ。」

などと気軽にあいさつを交わすことができるようになると**思います。**

この回収活動をきっかけに**地域全体が紙リサイクルに協** 力してくれるようになれば**みんなの意識も変わり、ゴミも** 減ってより住みやすく美しい町になるのではないかと**期待** しています。実現できたら**本当に素敵だなあ**ととてもワクワクします。

自分のアイデアが、実践することによって周囲にもたらす効果も想像していることが高い表現力として評価できます。

紙リサイクルをすると自分が感じられることを書き出すことで、読み手にも明るく、活動へのポジティブな印象を与えています。

良い作例 ～ポスター編～

ポスター作品も、ポイントをおさえながら自分が表現したいことをイメージして描きだしてみましょう。



優秀な作品として選ばれる作品には、下記のポイントが大きく関わってきます。

- テーマに沿った内容であること。
- キャッチフレーズがしっかりとしてわかりやすいこと。
- 人の心を強く引き付けるメッセージ性があること。
- 児童・生徒自身の意図が表現されていること。

また、作品の裏には作品の意図を書きましょう。

- ○○だったらいいな。
- ○○の思いでこのポスターを描きました。
- みんなで○○したらいい、を表現しました。
- ○○している様子を絵で表現しました。 …など

文字数の制限はありません。経緯や意図がわかるように書いてあると高評価につながります。

キャッチフレーズについて、なるべくレタリング（美しく読みやすい字にしたり、文字をデザインすること）をして描くと、よりしっかりとした印象になります。



文部科学大臣賞（ポスター部門最優秀賞）作品
「資源のリレー」 中学1年生



ポスター小学生部門 金賞（優秀賞）作品
「みんなで学ぼう紙リサイクル」 小学6年生



ポスター中学生部門 金賞（優秀賞）作品
「紙に未来を」 中学1年生

良い作例 ～ポスター編～

画用紙規定内のサイズ（四つ切以内）であれば素材は自由です。これまで画用紙以外の素材を使い、貼り絵などで表現した作品もあり、独創性が評価されました。

【実際にあった例】

新聞紙、雑誌の切り抜き、段ボール、折り紙など



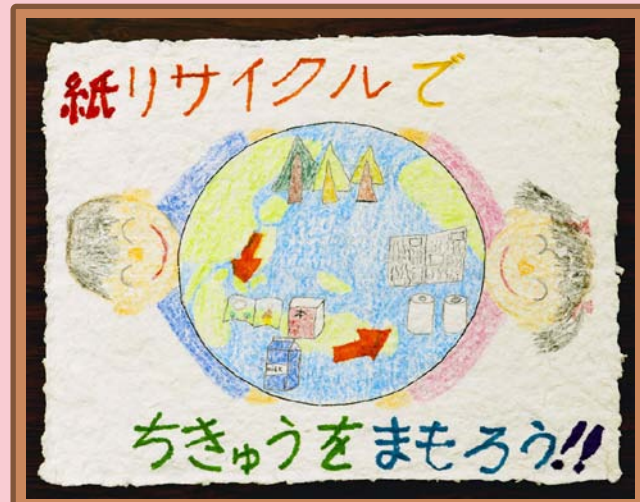
画用紙以外の素材を使い、独創性が評価された作品の例

段ボールを使用した作品



特別金賞（優秀賞）作品 小学4年生
「紙リサイクルつづけよう！」

牛乳パックから「紙すき」をして作った紙を使用した作品



ポスター小学生部門 佳作作品 小学2年生
「紙リサイクルでちきゅうをまもろう!!」

構図は、タテ・ヨコ問いません。

分別できるもの、できないもの、どの紙がどのような紙製品に生まれ変わるかをきちんと理解し、正しく「紙リサイクル」を描かれているかどうか大きなポイントになります。



ポスター中学生部門 銀賞作品
「未来へつなぐ 紙リサイクル」 中学2年生



ポスター小学生部門 銀賞作品
「すてないでリサイクル」 小学1年生



ポスター中学生部門 佳作作品
「未来につなごう紙リサイクル」 中学1年生

良くない作例 ～作文編～



ここからは、どのようなことが評価の対象外になるのか「良くない作例」を見て理解していきましょう。

応募の前に、下記のような表現、認識の間違いが無いが注目しましょう。

インターネット等で調べた内容をそのまま書いている作品が見受けられます。調べた事を書くときは、要点だけ書くようにしましょう。

「捨てずに使うこと」は「リユース」になるので審査の対象外になります。

本コンテストは「紙」がテーマです。紙以外のリサイクルは対象外です。

私が思うリサイクル

今、取り込んでいるリサイクル活動は、飲み終わった〇〇ジュースはペットボトルを洗い、ラベルを剥がしてペットボトル、プラスチックに分別していることです。お母さんが料理で使った缶詰もリサイクルします。お買い物でもらったレシートもリサイクルに出します。

新聞紙は雑巾の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

ゴミ捨て場に集められた紙は、回収されて工場に運ばれていきます。工場で集められた紙は紐を解き、ベルトコンベアーで運ばれて、専用のミキサーの中で水と一緒にいれられ、ドロドロの状態になります。そのような状態のものを「パルプ」と言い、これが新たに生まれ変わる紙になります。日本では一年間に一人約200kgの紙を使っています。例えば、児童の人数に置き換えると小学四年生七人分になります。紙を作る材料は、古紙の他に木材が必要です。木材はチップといわれる細かく切った状態にし、紙の材料になるパルプにします。再生紙は、木材チップよりも古紙のほうが多く使われています。

私は、紙リサイクルをすることによって、木をたくさん切り倒して森林が伐採、破壊されなくていいなと思います。森に住む動物たちの命も守れると思いました。

リサイクルされた紙は、新聞紙は段ボールに、段ボールはティッシュペーパーに、ティッシュペーパーはトイレトペーパーに生まれ変わります。

そこで、私が考えたアイデアは、きちんとゴミを出すようにゴミ捨て場にポスターを貼ることで、皆さんに意識してほしいと思いました。

私は、これからも森を守るために、色々なものをリサイクルしていきたいと思います。

どの紙が、どのような紙製品に生まれ変わるか正しく書きましょう。

新聞紙→新聞紙や週刊誌、印刷用紙など
段ボール→段ボール箱、紙箱など
ティッシュペーパーはリサイクルできません。

紙は貴重な資源なので、「ごみ」「捨てる」と表現しないでください。「紙を箱に集めています。」といった表現が望ましいです。

紙リサイクルは紙をごみにすることを防ぐことであって、森林破壊を防ぐことではありません。

商品名、企業名など特定の名称は入れないようにしましょう。

レシート(感熱紙)は、リサイクル出来ない紙です。

良くない作例 ～ポスター編～



一見「リサイクルに関連しているから大丈夫」と思っても、「紙リサイクル」とは異なることや、間違った認識のまま「紙リサイクル」を表現することによって、対象外になってしまう作品が多く見受けられます。下書きのときに確認し、このような表現がないか気をつけましょう。

これらのマークは、「紙リサイクル」に関係しないマークです。当コンテストでは使用しないでください。

紙を「紙ごみ」と言わないようにしましょう。きれいなレタリングができていても、キャッチフレーズが間違っていると評価の対象外になってしまいます。

使い終わった紙を捨てる表現はやめてください。上から×印を描くといった、禁止を意味する表現にしましょう。



「紙コップ、紙皿」や「レシート」はリサイクルできません。これらをリサイクルに出す表現は、間違いです。

「紙」に関することがまったく描かれていないと、どんなに力作であっても、審査の対象外となります。



塗り残しなどが無いよう、なるべく丁寧な作品づくりを心がけましょう。

「牛乳パック」は段ボールではなく、「トイレットペーパー、ティッシュペーパー」になります。生まれ変わる紙製品を正しく描きましょう。

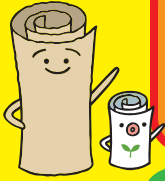
「リサイクル」という大きなくくりではなく、「紙」に絞ったリサイクルについて表現しましょう。また、紙リサイクルは紙をごみにすることを防ぐことであって、森林破壊を防ぐことではありません（紙を作ることは森林破壊につながりません）。

これらをふまえて、次のページの「作り方のコツ」をおさえて、より良い作品づくりに取り組みましょう。

作文・ポスターをより良く仕上げるために

「紙リサイクル」コンテスト」は、紙リサイクルについて正しく理解した上で、下記のチェックポイントとコツをおさえていくと、より良い作品に繋がります。

チェック



「リデュース」や「リユース」、「森（木）の循環」などと混同していませんか？

特定の個人名、団体名、企業名を入れていませんか？

他の作品などを流用したと思われる内容ではありませんか？

作文の書き方のコツ

●書き始めの工夫を考えましょう。

説明から始めるのではなく「あれ？」という驚きを持たせたり、「おもしろそう！」と思わせる書き方をします。例えば、いきなり会話で書き始めてもいいでしょう。

●話題を絞り込みましょう。

作文にする話題は、分解させずに、絞れば絞ったほど読んでもらえます。

●起承転結を作りましょう。

- 【起】これから書く作文の前提を説明し
- 【承】ポイントとなる出来事を登場させ
- 【転】それがどう展開していったかを書き
- 【結】最終的にどうなったかの結論で締める

できれば“転”は読み手を驚かせる展開だと面白くなります。文章量の目安は、起承転結を1:4:4:1とするとバランスが良いとされています。

●ドラマチックになる部分を詳しく書きましょう。

説明は必要最小限にして、その話題のメインとなるドラマの部分をより詳しく書くと、文章に厚みが出ます。

●自分の思いや考え、本音を書きましょう。

作者である子どもたちが、喜怒哀楽の本音を出すことで、読む人の心をつかみます。

●書き終わりの文章を工夫しましょう。

作文は出だしとシメが大切です。中でもシメ、つまり書き終わりは印象深く書くように指導しましょう。最も悩んで時間をかけていい部分です。

ポスターの描き方のコツ

●文字は大きく太くはっきり描きましょう。

キャッチフレーズは“紙リサイクル”というテーマがはっきりわかるように描かせましょう。

●文字の位置を工夫しましょう。

絵やイラストとの調和を考え、文字とのバランスがとれるような位置に配置できるように指導しましょう。

●絵やイラストは分かりやすくしましょう。

何を意味するのが分かりやすいような絵やイラストを描きましょう。

●作文以上に誤字脱字に気をつけましょう。

キャッチフレーズは短いフレーズです。その分、誤字脱字があると、その間違いがより目立ってしまいます。

●息を吐きながら描くことが、きれいに描くコツ。

少しずつ息を吐きながら筆を進めていくと、筆先がぶれません。

●さまざまな良いポスターを見てみましょう。

良い作品を見ることで、新しいアイデアが浮かぶと同時に、制作の質も上がります。

●裏面でも手を抜かず勝負させましょう。

裏面にスローガンやポスターの意図を書くときは、絵やキャッチフレーズで何を訴えたかったのか、わかりやすく説明させるように指導しましょう。



この「応募の手引き」のより詳しいことや、過去の受賞作品などの参考資料、紙リサイクルについてのコンテンツを用意しています。ぜひアクセスして、家庭での利用指導でもご利用いただくようにご紹介ください。

古紙再生促進センター 紙リサイクルコンテストページ

http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

紙リサイクルコンテスト

検索

スマートフォンからもご覧いただけます



応募に関する
問い合わせ先

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-23-4 浜松町昭栄ビル 4F

『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020』事務局 (CISC 内)

TEL. 03-5777-1322 / FAX. 03-3432-4044

企画・編集・発行

公益財団法人 古紙再生促進センター

TEL.03-3537-6822 FAX.03-3537-6823 <http://www.prpc.or.jp>